



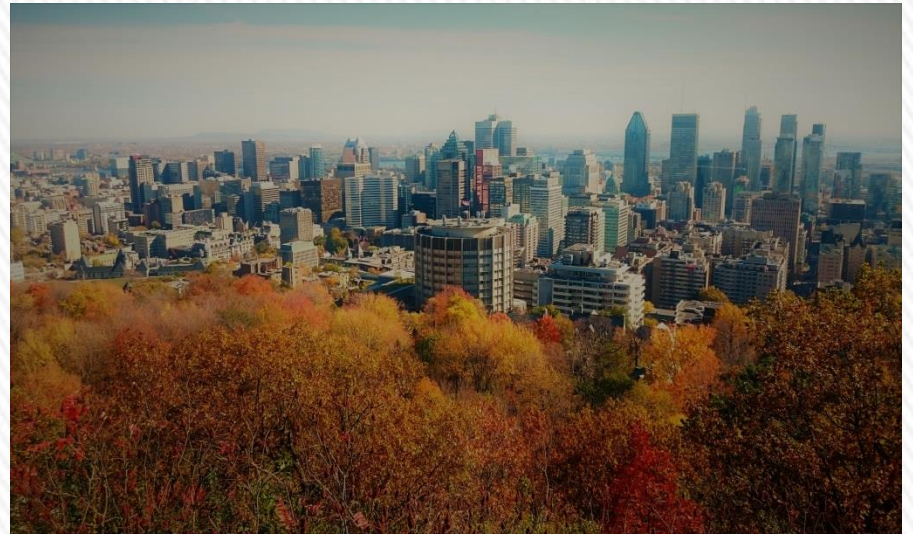
＜上智大学主催 ICAOキャリアセミナー＞

～日本のICAOでの取組の現場から～
ICAOで働く魅力とは？

2019年1月31日

ICAO日本政府代表部
松居 眞司





私たちを守るICAOの仕事

※「附属書」はシカゴ条約の一部

ICAOは国際民間航空の安全・保安・環境対策等の政策・規範作りや監視を行う国際機関

空港でのチェックイン



- パスポート作成の仕様に関する規則
- 航空会社による旅客情報取得義務づけ (いずれも第9附属書)

保安検査



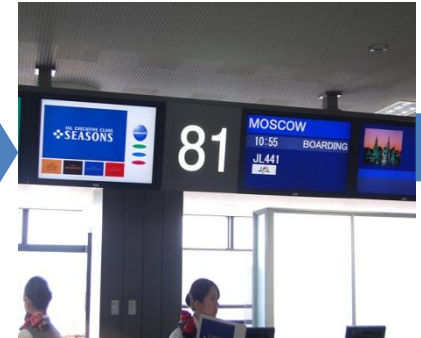
- 旅客や手荷物の保安検査の仕様や規則 (第17附属書)

出国審査



- 円滑な出入国管理に関わる手順や規則
- 国際空港の旅客向け施設やサービスに関わるガイドライン
- 旅客や手荷物、貨物の出発・到着に関するガイドライン (いずれも第9附属書)

搭乗口



目的地到着



- 旅客が入国を拒否された場合の取扱ガイドライン (第9附属書)

出発



- 国際線を運航する航空会社の事業に関する規則 (第6附属書)
- パイロットの資格に関する規則 (第1附属書)
- 航空機の登録に関する規則 (第7附属書)
- 環境保護に関するルール (第16附属書)

- 運航に必要な気象情報やルート、通信、管制等のルール (第2, 3, 4, 5, 10, 11, 15附属書)
- 国際空港の仕様に関するルール (第14附属書)

国際民間航空機関 (ICAO) とは？ (International Civil Aviation Organization)



- 1944年に採択された『国際民間航空条約(シカゴ条約)*』に基づき1947年に正式に設立された国連専門機関。

* *Convention on International Civil Aviation (Chicago Convention)*

- 目的 (前文): “国際民間航空が安全に且つ整然と発達するように、また、国際航空運送業務が機会均等主義に基づいて確立されて健全かつ経済的に運営されるように、一定の原則及び取極について合意する”

国際民間航空の安全、安心、効率的で持続可能な発展のため、
1) 航空規則の国際基準の決定と各国間の調和のとれた実施、
2) その前提として上空飛行の秩序と法の支配を促進！

⇒ 空域の平和と安定、国際航空市場の競争・投資環境の整備にも貢献

- ① 現在及び将来の航空技術、航空市場、リスク、リソースを見据え、総会で戦略目標や方向性を、理事会で政策のガイダンスや計画、国際基準*などを決定

* 標準 (Standards) と勧告方式 (Recommended Practices) = SARPs

- ② 技術支援で実施の普遍化を促進

→ 「どの国も置き去りにしない (No Country Left Behind)」方針

～ シカゴ条約～

総会(192カ国)

理事会(36カ国)

航空委員会, 航空運送委員会等,
パネル, 専門作業部会合等

地球市民

事務局

本部モントリオール
7 地域事務所：パリ,
リマ, メキシコシティ,
バンコク (北京に支所),
カイロ, ダカール,
ナイロビ

加盟国

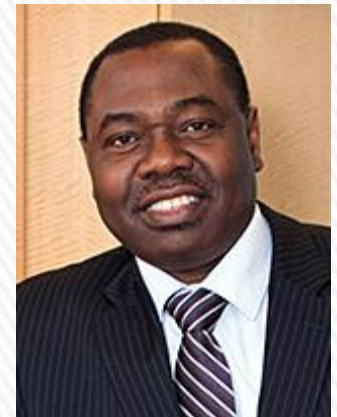
(政府代表部)

オブザーバー機関
(EU, IATA, ACI等)
地域グループ

ICAOの意思決定機関

総会 Assembly

- 加盟192カ国が参加する最高意思決定機関。
- 理事国選挙、事業予算など組織基盤と方向性に関わる事項を決議。
- 3年に一度の定例開催…次回(第40回)は2019年秋。



アリウ理事会議長

理事会 Council

- 総会の決定事項を実施。理事会議長・事務局長を任命。シカゴ条約附属書を採択。総会選出の36カ国で構成。総会で以下 Part 別に選挙。年3回の定例会期。

- Part I (11カ国) ⇒ 航空運送で最も重要な国

アメリカ、カナダ、フランス、イギリス、ドイツ、イタリア、ロシア、オーストラリア、日本、中国、ブラジル

- Part II (12カ国) ⇒ 空港等設置に貢献の大きい国

アルゼンチン、コロンビア、メキシコ、スペイン、アイルランド、スウェーデン、インド、シンガポール、ナイジェリア、南アフリカ、エジプト、サウジアラビア

- Part III (13カ国) ⇒ 地理的バランスを確実にするための関係地域選出国

アラブ首長国連邦、トルコ、韓国、マレーシア、パナマ、キューバ、エクアドル、ウルグアイ、アルジェリア、カーボヴェルデ、コンゴ(共)、ケニア、タンザニア

- 議長: オルムイワ・ベナード・アリウ氏(ナイジェリア出身)。1期3年で2期目(2019年末迄)。
- 副議長: ドイツ、エクアドル、日本の各代表。

理事会を支える委員会

■ 航空委員会 (*Air Navigation Commission*)

- ◆ 国際標準などの勧告案作成の中核を担う理事会補助機関
(シカゴ条約に基づき設置)
- ◆ 日本など19カ国から19名の航空技術専門家で構成(理事会が選出)



■ 航空運送委員会 (*Air Transport Committee*)

- ◆ 国際航空運送の経済関係所管委員会。(シカゴ条約に基づき設置)

- 他の常設委: 財政委、人事委、ホスト関係委、技術協力委など
- 対外協力審査アドホック委

ICAO事務局 (Secretariat)

- 事務局長: 柳芳氏(Dr. Fang LIU、中国出身)。1期3年で2期目(2021年7月末迄)。
- 総会決議や理事会決定の実施のフォロー、監視、報告、決定すべき事項の提案を行う。
- 本部には5つの部局の他に、財務、広報、内部評価及び監査等の担当部署。
- 世界7カ所の地域事務所を通じて各国をサポート。
- 職員総数は現在、約700名。日本人は9名。(2018年12月現在)



柳事務局長

事務局長 *Secretary General*

航空技術局

Air Navigation Bureau

航空運送局

Air Transport Bureau

法律・対外関係局

Legal Affairs and External Relations Bureau

技術協力局

Technical Co-operation Bureau

総務局

Bureau of Administration and Services

地域事務所

バンコク

北京支所

パリ

カイロ

ダカール

ナイロビ

メキシコシティ

リマ



Vanda D'Alonzo Photography



日本はこんな取組に力を注いでいます

- 日本は、1953年に加盟。1956年以来理事国として航空安全、保安、環境対策等の活動・組織の方向性を示す総会や理事会での意思決定に参画。第3位の分担金拠出国(7.5%)。またIC旅券仕様等の国際管理を行う任意拠出国の中の理事国。
- 主要国代表部、理事会議長や事務局と緊密に連携し、航空行政や航空産業界等の日本の立場を総会、理事会の意思決定に反映するように外交を推進。
- 2017年10月、日本の主導で米国、韓国などと共同提案で、安保理決議違反の北朝鮮の弾道ミサイル発射を航空安全への重大な脅威として非難し、北朝鮮の規則の遵守等を求める理事会決定を全会一致で採択。
- 現在、松居理事会代表が理事会第三副議長、対外協力審査委員長を務める。
- 航空委員会に長年委員を送り、航空安全の国際標準作り等を専門的にサポート。2017年日本から吉村航空委員が日本人で初めて航空委員会議長を務めた。
- 専門作業部会、途上国向け各種研修等へ数多くの日本人を派遣。2018年は、アジアに日本の専門家を派遣し、カンボジア、ミャンマー、バングラデシュ、アフガニスタンにICAOの国際線炭酸ガス排出削減措置の実施に向けた技術協力を提供。
- 事務局の日本人職員の増強に向けた取組。ICAOをキャリア選択肢にしたいとの関心が広がるよう広報と情報発信。面接に残った応募者やJPOを積極的に応援。

- » 実際にICAO事務局にはどのような入り方があるのか？ 正規職員、出向職員とは？JPO制度とは？
- » ICAOでは、航空専門の技術や経験、能力のある人材でないと採用されない、又は務まらないのではないか？
- » 日本を出て、あるいは政府や企業の就職機会や実際の仕事を離れても、ICAOで働くという選択をする場合の一番の魅力、働き甲斐は何か？
- » ICAOや国際機関で働いて日本人でよかった、日本人らしい貢献ができたと思えるようなことはあるか？
- » ICAOで採用されるためのキャリア形成のコツはあるのか？

● 日本政府代表部の活動や、ICAO日本人職員の現場からの声などもっと知りたい方は、代表部HPへどうぞ！

http://www.icao.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

● 代表部への御質問・御意見は、以下メールでどうぞ！

japan@icao.int

● JPOへの応募その他国際機関の就職関連情報については、外務省国際機関人事センターHPへどうぞ！

<https://www.mofa-irc.go.jp/>

